

## 韓国留学で得たもの

私は2010年2月から2011年の1月までの約1年間、韓国の東国大学慶州キャンパスで語学留学をしていました。大学ではひとクラス10名程度の語学堂という教室で、中国やスリランカなどから来た留学生と共に韓国語を勉強をしました。また、慶州やその近隣で行われている伝統祭りに行ったり、餅作り体験などをしたりする文化授業もありました。

初めの頃は知っている韓国語が少なく、日本語が通じない環境の中で意思疎通をすることが難しかった場面もありましたが、授業での学びだけではなく、キャンパス内の会話や市街地に買い物に行った時などに聞こえてくる韓国語、日本とは違った生活文化に触れることで徐々に自然とコミュニケーションを取れるようになりました。TOPIK（韓国語能力試験）中級4級を取得し、後半には韓国人の学生が所属するボランティアサークルや社会福祉学のゼミなど、語学の授業以外の場にも参加できるようになりました。

1年間で得たものは語学力ではありません。大学では、韓国人の学生、アジア各地、ヨーロッパなどから来た留学生と出会いました。それぞれの国の言葉や文化を知ることができたことも私にとってかけがえのない経験です。

また、嬉しい、苦しいなどの感情を共感できる親友と言える友人関係をつくり上げることもできました。私は彼女たちのおかげで、感動を共に分かち合いながら、楽しく有意義な生活を送ることができました。

韓国ではいろいろな人たちに助けられました。体調を悪くしたときは、先生や友人が助けてくれました。道に迷ったときは知らない方が親切に目的地まで道案内をしてくれました。また、家族ぐるみで優しくしてくださった教授、親しくなりたいと図書館やまちなどで声をかけてくれた先輩などとの素敵な出会いが私を成長させてくれました。

留学中、私はいろいろな人からの力を借りながら貴重な経験をしてきました。出会った友人、先生、同じ目的を持った仲間。もちろん日本で応援してくれた人たち、手助けをしてくれた人たち。いろいろな人に感謝しています。また、日本に留学に来た人たちに、人の温かさを繋いでいきたいです。私が韓国で感じた心の温かさを次の人に繋ぎ、その人がさらに次に繋いでゆく、そうすることで世界の人たちが繋がっていけるような気がします。

現在、私は教員として学校で勤務しています。その中では日本と他国の文化について話をしたり、韓国語で会話をしたりする機会もあり、留学での経験が仕事でも活かされていると感じます。

韓国で出会った友人や先生たちとは今でも連絡を取り合っています。日本へ戻った今でも、世界で繋がれる人たちがいることを嬉しく思います。

韓国留学という経験ができたのも、名寄市立大学との出会いがあったからです。在学している後輩たちにも、今しかできない貴重な経験をしてほしいと思います。

韓国での良き思い出や経験を大切に、出会った方々に感謝しながらこれからも前進していきたいです。

名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科  
2012年3月卒業生  
橋本絵梨香

